

## 株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで  
配当金受領株主確定日 毎年9月30日  
定時株主総会 毎年12月  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

(同送付先)

同取次所 電子公告  
公告方法 (当社ホームページ <http://www.daiichi-d.co.jp/> に掲載。)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

上場取引所 JASDAQ市場  
証券コード 7643

## お知らせ

株式のお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求は、次の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

# 年次報告書

第53期(平成18年10月1日から平成19年9月30日まで)

## Frontier Spirit



TEL 0155-24-5582 (代表)

FAX 0155-22-7257

<http://www.daiichi-d.co.jp/>

本誌に関するお問い合わせは、企画IR部までお願いいたします。



JASDAQ  
証券コード 7643

## 基本方針

私たちダイイチの経営の根幹は、従業員の満足度を高め、取引先との共存共栄を図り、「消費者の毎日の食生活を豊かにするためのお手伝いをする」というスーパーマーケットの社会的役割を果たすことです。

## ダイイチのマークと由来



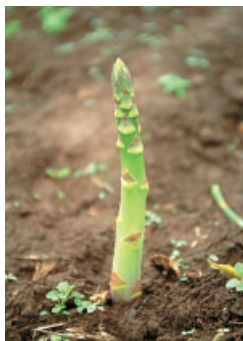
ダイイチの「D」に、会社が繁栄するよう末広に上っていく形を表しています。

平成4年「ダイイチ」に社名変更した際に、一般公募から選ばれました。

株主優待品の「大地」の顔



メロン



グリーンアスパラ



長いもの葉

## ご挨拶



代表取締役社長 小西 保男

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、常日頃より当社に対し、格別のご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。ここに当社第53期事業年度の年次報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加、雇用機会の拡大に伴う個人消費の緩やかな回復に支えられて、引き続き着実な回復過程の中で推移いたしました。

一方、公共事業の依存度が高い北海道経済は、輸出関連製造業による一部の地域に持ち直しの動きがあったものの、全体として雇用情勢の低迷に加え、民間需要の回復も遅れ、景気回復を実感できないまま終了いたしました。

当社を取り巻く経営環境は、さらなる競合店の出店や価格競争の激化に加え、消費者の生活防衛意識の高まりによる低価格志向の継続などで厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで当社は、スーパーマーケットの社会的役割を果たすため、新規出店の早期実現と既存店舗の活性化を推進するとともに、品質管理の徹底や品揃えの見直し、売り場レイアウトの変更などを進め、売り場の標準化と作業の効率化を図り、企業体質の強化と企業業績の向上に努めてまいりました。

なお、新規出店につきましては、札幌ブロック2号店を2008年夏を目処に開店する予定です。当年8月に出店用地の取得を終え、全社を挙げて周到に準備を進め、さらなる飛躍を目指してまいります。

当事業年度の業績につきましては、売上高は前期比2.0%増の254億6千1百万円、経常利益は前期比6.5%増の4億4千1百万円、当期純利益は前期比31.2%増の2億2千5百万円と増収増益となりました。

引き続き、当社は経営環境の変化に柔軟に対応し得る強固な企業体制を確立し、さらなる収益の向上と企業価値の増大に努める所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも力強いご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

## 事業の概況

	第50期	第51期	第52期	第53期 (当期)
売上高 (百万円)	23,613	24,514	24,971	25,461
営業利益 (百万円)	427	357	440	458
経常利益 (百万円)	405	322	414	441
当期純利益 (百万円)	226	99	172	225
1株当たり当期純利益 (円)	64.21	22.75	43.04	56.48
総資産 (百万円)	9,849	9,871	9,767	10,113
純資産 (百万円)	3,873	3,934	4,040	4,191
自己資本比率 (%)	39.3	39.9	41.4	41.4

当社を取り巻くスーパーマーケット業界は、食品の安全性に対する諸問題の発生や原材料価格の高騰による仕入価格の上昇、定率減税の廃止や税源移譲に伴う個人住民税の負担増など、消費者心理を悪化させる要因が重なり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもとで、当社は「消費者の毎日の食生活を豊かにするためのお手伝いをする」というスーパーマーケットの社会的役割を果たすため、従来に引き続き、以下の基本方針のもとでお客様の支持拡大に努めてまいりました。

第1に、お客様に、より安全で安心していただける商品の提供。高品質・高鮮度の商品はもとより、産地表示を含めた商品に関する正確な情報を提供するとともに、残留農薬や食品添加物のより少ない商品を開発・提供すること。

第2に、お客様の所得水準・家族構成などに合わせた、価格・量目の商品を提供するとともに、地域の実情にあった品揃え・サービスを提供すること。

第3に、常にお客様の要望に耳を傾け、毎日お客様に新鮮な驚きを与えられる売り場を作り続けること。

店舗につきましては、新規出店は実現できませんでしたが、平成19年3月に「啓北店」(帯広ブロック)を増床するとともに、全店において既存設備の点検・補修を行い、お客様満足度の向上に努めた結果、客数および客単価はともに1%増加し、増収増益を達成いたしました。

## 会社に対処すべき課題

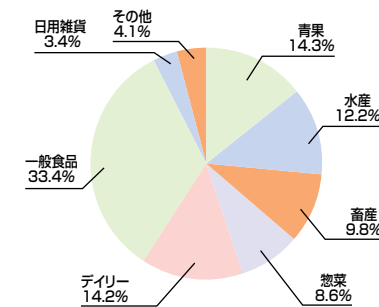
今後の景気動向につきましては、原材料の価格高騰や米国経済の減速懸念などの不安要素があるものの、堅調な企業業績を背景に設備投資の拡大が続き、内需主導による自律的回復へ向かうものと思われま

す。小売業界の消費動向は、勤労者世帯の可処分所得の停滞感や将来の年金不安などにより、価格への関心がさらに強まり、価格重視の傾向が続くものと考えております。また、スーパーマーケット業界は、原油高や原料高の影響による仕入価格の上昇懸念に加え、さらなる各社の出店、価格競争の激化などにより、厳しい状況が続くものと思われま

す。このような状況のもとで、当社は、従業員の満足度を高め、取引先との共存共栄を図り、「消費者の毎日の食生活を豊かにするためのお手伝いをする」というスーパーマーケットの社会的役割をこれまで以上に果たしてまいります。基本方針の実践はもとより、店舗オペレーションの確立による作業時間の改善、産地・市場・ベンダーの開発およびセンター機能の活用、社外セミナー等による能力開発と人材育成などの施策により、企業業績の向上と企業体質の強化を図ってまいります。

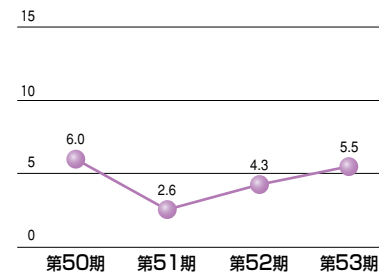
また、内部統制に関わる社内体制の充実を図るとともに、法令の遵守と情報の開示に積極的に取り組み、経営の透明性を高めてまいります。

部門別売上高



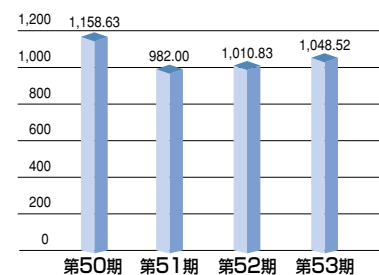
自己資本利益率 (ROE)

(単位:%)



1株当たり純資産額

(単位:円)



# 貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科 目	前 期 (平成 18 年 9 月 30 日現在)	当 期 (平成 19 年 9 月 30 日現在)	科 目	前 期 (平成 18 年 9 月 30 日現在)	当 期 (平成 19 年 9 月 30 日現在)
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
流 動 資 産	1,782,987	1,654,966	流 動 負 債	2,946,433	2,892,905
現金及び預金	786,990	713,647	買 掛 金	1,488,814	1,448,952
売 掛 金	66,860	76,136	③ 1年以内に返済予定の長期借入金	477,471	546,220
たな卸資産	646,842	593,055	未 払 金	142,604	236,468
繰延税金資産	110,493	98,094	未 払 費 用	253,543	225,689
その他	172,150	174,382	未 払 法 人 税 等	210,841	93,334
貸倒引当金	△ 350	△ 350	賞 与 引 当 金	179,122	179,813
固 定 資 産	7,984,587	8,458,497	役 員 賞 与 引 当 金	8,300	-
① 有形固定資産	6,414,840	6,951,140	そ の 他	185,736	162,427
② 建物・構築物	3,384,146	3,145,486	固 定 負 債	2,780,177	3,028,900
土地	2,965,926	3,758,162	③ 長期借入金	2,044,400	2,289,014
その他	64,767	47,491	退職給付引当金	383,269	393,153
無形固定資産	31,499	30,936	役員退職慰労引当金	87,555	107,290
投資その他の資産	1,538,246	1,476,420	そ の 他	264,952	239,443
投資有価証券	109,751	85,558	負 債 合 計	5,726,610	5,921,806
関係会社株式	3,000	3,000	純 資 産 の 部		
繰延税金資産	198,242	224,157	株 主 資 本	4,002,806	4,168,640
差入敷金・保証金	753,258	721,041	資 本 金	840,455	840,455
その他	473,993	442,663	資 本 剰 余 金	767,302	767,302
資 産 合 計	9,767,575	10,113,464	利 益 剰 余 金	2,397,668	2,563,502
			自 己 株 式	△ 2,618	△ 2,618
			評 価 ・ 換 算 差 額 等	38,158	23,018
			純 資 産 合 計	4,040,964	4,191,658
			負 債 純 資 産 合 計	9,767,575	10,113,464

記載金額は貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書すべて、表示単位未満の端数を切捨てて表示しております。

## POINT ①

有形固定資産の減価償却累計額  
3,436,121千円

## POINT ②

当期の設備投資額の総額  
806,115千円  
主な内訳 新規出店用地

## POINT ③

当期の有利子負債は2,835,234千円で、前期と比べ313,363千円増加いたしました。

# 損益計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	前 期 (平成 17 年 10 月 1 日から 平成 18 年 9 月 30 日まで)	当 期 (平成 18 年 10 月 1 日から 平成 19 年 9 月 30 日まで)
① 売 上 高	24,971,067	25,461,914
売 上 原 価	18,960,938	19,382,431
売 上 総 利 益	6,010,129	6,079,483
営 業 収 入	287,499	264,272
営 業 総 利 益	6,297,629	6,343,755
販売費及び一般管理費	5,857,291	5,884,862
営 業 利 益	440,337	458,893
営 業 外 収 益	23,653	26,295
営 業 外 費 用	49,244	43,608
経 常 利 益	414,746	441,580
特 別 利 益	-	6,108
②③ 特 別 損 失	94,273	35,622
税引前当期純利益	320,473	412,066
法人税、住民税及び事業税	224,139	189,528
法人税等調整額	△ 75,745	△ 3,261
当 期 純 利 益	172,079	225,799

## POINT ①

前期比売上高	102.0%
前期比客数	101.0%
前期比客単価	101.0%

## POINT ②

特別損失の主な内訳	
固定資産除却損	226千円
減損損失	35,395千円

## POINT ③

減損損失の内訳	
帯 広 地 区	559千円
旭 川 地 区	34,835千円

# キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	前 期 (平成 17 年 10 月 1 日から 平成 18 年 9 月 30 日まで)	当 期 (平成 18 年 10 月 1 日から 平成 19 年 9 月 30 日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	901,590	439,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 70,294	△ 748,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 682,930	253,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増加額	148,365	△ 55,791
現金及び現金同等物の期首残高	425,860	574,225
現金及び現金同等物の期末残高	574,225	518,433

■営業活動によるキャッシュ・フロー  
税引前当期純利益4億12百万円、減価償却費2億41百万円およびたな卸資産の減少額53百万円等が、仕入債務の減少額39百万円および法人税等の支払額2億99百万円等を上回ったことによるものであります。

■投資活動によるキャッシュ・フロー  
有形固定資産の取得による支出額が8億6百万円があったことなどによるものであります。

■財務活動によるキャッシュ・フロー  
長期借入金による収入8億円に対し、長期借入金4億86百万円の返済および配当金の支払額59百万円があったことによるものであります。

# 株主資本等変動計算書（要約）

（平成18年10月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年9月30日残高	840,455	767,302	2,397,668	△ 2,618	4,002,806
事業年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 59,965		△ 59,965
当期純利益			225,799		225,799
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）					
事業年度中の変動額合計			165,833		165,833
平成19年9月30日残高	840,455	767,302	2,563,502	△ 2,618	4,168,640

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	
平成18年9月30日残高	38,158	4,040,964
事業年度中の変動額		
剰余金の配当		△ 59,965
当期純利益		225,799
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	△ 15,140	△ 15,140
事業年度中の変動額合計	△ 15,140	150,693
平成19年9月30日残高	23,018	4,191,658

記載金額は、表示単位未満の端数を切捨てて表示しております。

# Corporate Data

会社データ（平成19年9月30日現在）

## 会社概要

商号 株式会社ダイイチ  
 所在地 北海道帯広市東5条南11丁目6番地  
 会社設立 昭和33年7月11日  
 資本金 840,455千円  
 従業員数 225名（正社員数）  
 主要な事業内容  
 1) 総合食品の販売  
 2) 日用品の販売  
 3) 書籍、雑誌、文房具の販売  
 4) 衣料用繊維製品の販売  
 5) 家庭用電化製品の販売  
 6) ペット用品、ペットフードの販売  
 7) 酒類、煙草、印紙の販売  
 8) 前各号に関連する一切の事業

## 役員（平成19年12月21日現在）

取締役会長（非常勤） 川上直平  
 代表取締役社長 小西保男  
 専務取締役 鈴木達雄  
 常務取締役 若園清孝  
 常務取締役 赤堀孝充  
 取締役 渡部朋秋  
 取締役 川瀬豊治  
 取締役（非常勤） 笹井俊龍  
 取締役（非常勤） 内藤龍信  
 常勤監査役 堀内健三  
 監査役 佐藤裕三  
 監査役 笹井祐三

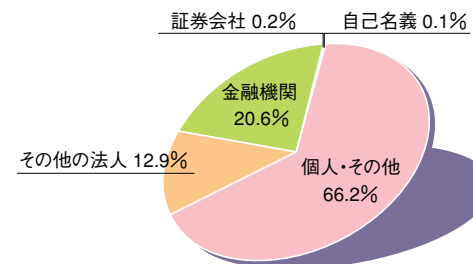
## 株式の状況

①発行可能株式総数 12,000,000株  
 ②発行済株式の総数 4,003,320株  
 ③株主数 1,752名  
 ④大株主

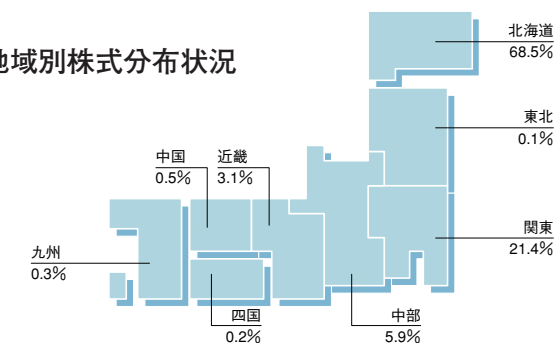
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
川上直平	401,410株	10.04%
ダイイチ取引先持株会	203,100	5.08
株式会社北陸銀行	146,520	3.66
株式会社北洋銀行	120,000	3.00
商工組合中央金庫	115,200	2.88
若園清	108,500	2.71
株式会社みずほ銀行	100,800	2.52
内藤龍信	99,438	2.48
笹井清志	91,074	2.27
寺西鋳一	90,336	2.25

（注）出資比率は自己株式（5,634株）を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 地域別株式分布状況





- 本社** 北海道帯広市東5条南11丁目6番地  
**帯広本部** 北海道帯広市西20条南1丁目14番地  
**旭川本部** 北海道旭川市末広1条7丁目265番地  
**帯広ブロック**  
 北海道帯広市 杏号店 東店 西8条店  
 啓北店 ハーモニー店 白樺店  
 みなみ野店 帯広びっくり市 西帯びっくり市  
 北海道河西郡芽室町 めむろ店 ブックセンター  
 北海道中川郡幕別町 札内店  
**札幌ブロック (帯広ブロック管轄)**  
 北海道札幌市 八軒店  
**旭川ブロック**  
 北海道旭川市 西店 神居店 北斗店  
 東光店 末広店 東旭川店  
 旭町店 二条通店  
 北海道空知郡上富良野町 上富良野店  
**センター**  
 帯広市 惣菜センター 帯広配送センター  
 旭川市 旭川配送センター



# ファイブ・ア・デイ協会に入会しました



5 A DAY (ファイブ・ア・デイ) とは、1991年アメリカの農産物健康増進基金と米国立がん研究所が協力しあって始まった、がん予防を目指した国民健康増進運動です。

その内容は「健康増進のために1日5~9サービングの野菜と果物を食べましょう」という、シンプルで明確なメッセージです。アメリカでは国民運動にまで成長し、一人あたりの野菜・果物の摂取量が増加し、生活習慣病での死亡率が減少傾向を示しています。

アメリカでは、野菜3+果物2=5 A DAYで健康に!と提唱されています。日本にあてはめると、

※1 1日の摂取目安は、野菜：350g以上・果物200g(総重量)以上です。  
 <可食部は150g>

※1 <厚生労働省「健康日本21」>  
 ※2 <果物のある食生活推進全国会議「毎日くだもの200g運動」>

野菜：350g  
 果物：200g

野菜350gと果物200gは具体的に次のとおりです。

野菜： × 5 = 350g  
 小鉢程度の野菜料理

果物： × 2 = 200g  
 みかん程度の果物

野菜炒めなどの野菜のたくさん入った料理は2つとして数えます。

リンゴなどの大きなものは1つでOK!



このPOPを見つけたら、健康のこと、考えてみませんか?

# 2008年IR・株式カレンダー

10月	月次報告開示
11月	月次報告開示・決算短信開示
12月	月次報告開示
12月21日	定時株主総会開催・年次報告書送付
12月22日	100株以上1,000株未満所有株主様へギフト券発送
12月25日	配当金支払開始 有価証券報告書(EDINET)提出

## これからの予定

1月	月次報告開示
1月末日	株主優待希望申込締切
2月	月次報告開示・第1四半期業績開示(上旬)
2月下旬	株主優待商品券・ギフト券発送予定
3月	月次報告開示
3月31日	中間決算日
4月	月次報告開示
5月	月次報告開示
5月中旬	中間決算短信発表
6月	月次報告開示・半期報告書(EDINET)提出
6月	株主優待グリーンアスパラ分発送予定
7月	月次報告開示
7月中旬	株主優待長いも分発送予定
7月下旬	株主優待メロン分発送予定
8月	月次報告開示・第3四半期業績開示(上旬)
9月	月次報告開示・30日:決算日

## 見通しに関する注意事項

この年次報告書に記載されている計画、戦略および業績見通しなどは、将来の予測であって、リスクや不特定要素を含んでおります。従って実際の業績は、さまざまな要因により、これらと異なる場合があります。

株主様向けアンケート

# 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7643

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます  
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。  
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

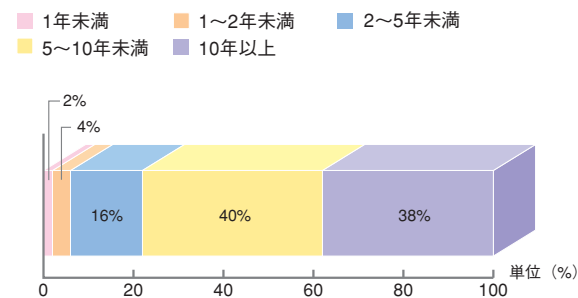
# e-株主リサーチアンケート結果

インターネットによるアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。

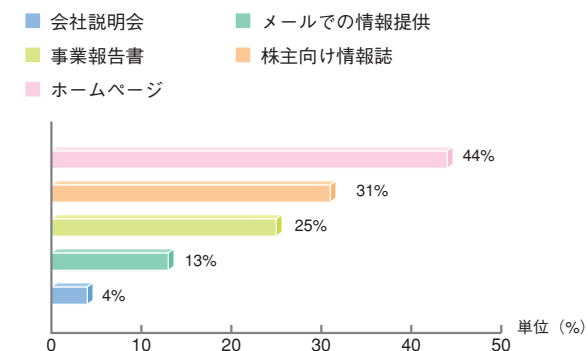
今年も引き続き、オンラインによる株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」を実施させていただきましたことになりました。前ページをご参照のうえ協力いただきたくお願い申し上げます。

## ○アンケートのご回答をいただいた株主の皆様(男性83% 女性17%)

### (投資経験構成比)



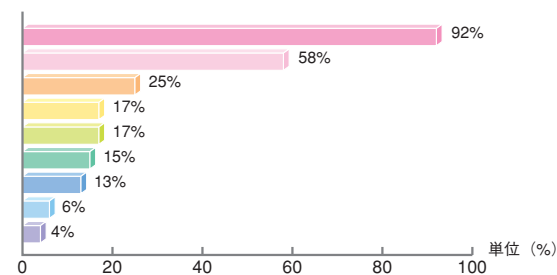
### (当社に希望するIR活動) (複数回答上位5位まで)



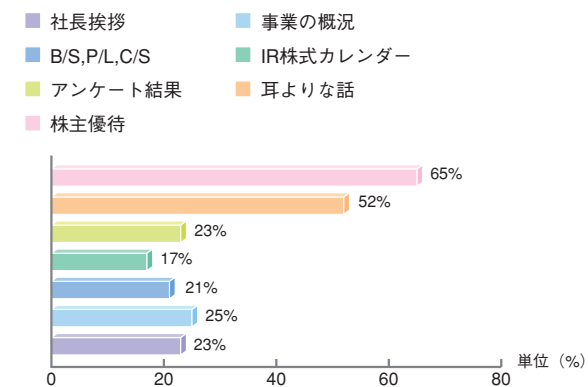
### (当社の株式を購入された理由)

(いくつでも)

- 経営者の考え方
- 将来性
- 収益性
- 安定性
- 株主優待
- 経営者の方針
- 事業内容
- 財務内容・業績
- 配当利回り



### (昨年興味をひいた項目) (複数回答上位7位まで)



## 耳よりな話 — スーパーマーケットの入口

スーパーマーケットの出入口は二重の自動ドアになっていることが多いのですが、

**それは、温度管理のためです。**

店内の温度を快適に保ち、冷蔵ケース内の温度を設定通りに安定させるためです。二重のドアで仕切られた“部屋”をダイイチでは風除室と呼んでいます。店内は、快適な温度に空調されていますし、オープンケースや冷凍平ケースなど冷蔵、冷凍設備が多数あります。これらは利便性のため、扉のない構造になっています。出入口のドアが1枚なら、ドアが開くたびに夏なら熱気が、冬なら冷気が吹き込み、ケース内の温度が不安定になったり、コンプレッサーが必要以上に稼動して余分な電気を使うこととなります。生鮮食品の品質管理は温度管理と言っても過言ではありません。二重のドアの動きをよく見ると、同時に開かないように時間調整がされているのがわかります。出入する人が立ち止まることなく2枚のドアを通れ、外気を運ぶ風はシャットアウトします。

また、この2枚のドアには衝突防止のための工夫もされています。床から1mの高さ（大人の腰の高さぐらい）に10cm幅のカラーテープが貼られています。これは子供の目線に合わせていて、この場所にガラスがあることを知らせています。無色透明のガラスの自動ドアは、あるように見えなかったり、また閉まっても開いているように見えてしまうこともあるからです。



どこのスーパーマーケットも入口に、青果売り場があります。その理由は、主に3つあります。

**1つ目は、「買い物頻度が高い」こと。**

青果物は、魚や肉の付け合わせとして、また、サラダや煮物など必ず食卓に上がる食材です。メインディッシュとまではいきませんが、毎日私たちは青果物を食べていることとなります。そのため、ほぼ毎日スーパーマーケットへ、新鮮な青果物をお買い求めになるためにお客様が来店されます。全てのお客様が通られる入口近くに青果売り場をもってきています。

**2つ目は、「鮮度が訴えやすい」こと。**

青果物は買い物頻度が高いため、お客様自身も商品をよくご存知です。特に葉物であるほうれん草などは、誰の目にも鮮度の判断が簡単にできます。鮮度の良い青果物を入口近くで販売することで、店全体の新鮮度をアピールすることができます。

**3つ目は、「季節感を訴えやすい」こと。**

スーパーマーケットの商品の中で一番季節を表しやすいのが、青果物です。メロンなら夏、みかんなら冬と商品そのもので季節感を出すことができます。魚や肉でも、旬や季節はありますが、素材そのもので販売することが多いため、香りとともに季節を味わうことができます。

マンネリ化させず、毎日新鮮な驚きを与えられる売り場を作り続けていくことで、毎日の買い物が楽しくなるように、季節感の演出をダイイチは日々考えています。

(参考：オール日本スーパーマーケット協会「Network」)



## 株主優待のお知らせ

平成19年9月期の株主優待は下記のとおりとなりました。

1,000株以上を保有の株主の皆様は特にご覧ください。

### 優待内容と申込方法について

**100株以上** VISAギフト券1,000円分  
**500株未満** VISAギフト券を株主総会終了後、速やかに発送いたします。

**500株以上** VISAギフト券2,000円分  
**1,000株未満** VISAギフト券を株主総会終了後、速やかに発送いたします。

**1,000株以上** 下記の中から1点をお選びください。

- A 当社商品券3,500円分
- B VISAギフト券3,500円分
- C 北海道特産品 グリーンアスパラ 1.2kg (3,500円相当)
- D 北海道特産品 長いも 5kg (3,500円相当)
- E 北海道特産品 メロン2玉 (3,500円相当)

ご希望の商品(A~E)を1品お選びいただき、添付のはがきにご記入のうえ、切手を貼らずにポストにご投函ください。

### 平成20年1月末日到着分まで

希望申込受付期間  
お申込がない場合

- ① 店舗のある地域（十勝支庁管内、上川支庁管内、石狩支庁管内）の株主様に対し、当社商品券を贈呈します。
- ② 店舗のない地域の株主様に対し、北海道特産品メロン2玉を贈呈します。

商品の発送

- A 当社商品券は2月下旬
- B VISAギフト券は2月下旬
- C グリーンアスパラは収穫時季の6月を予定
- D 長いもは春収穫分を7月中旬に予定
- E メロンは収穫時季の7月下旬を予定

個人情報について  
いただいた個人情報は、この優待商品のお届けのみにご利用させていただきます。

注意事項

- ・株主名が法人の場合、会社名をお書きください。（社長様名だけではわかりかねます）
- ・昨年、無記入のまま投函された方がいらっしゃいました。保護シールを貼る前にもう一度ご確認ください。シールは何度でも使えます。
- ・ご希望の時間にはお届けできない場合があります。ご了承ください。

